

07

CHAPTER

第7章

児童館別の施設整備の方向性

1 児童館別の施設整備の方向性の考え方

児童館に求められる役割とそのために必要な機能の充実を効率的かつ効果的に実施するため、施設の現況、需要の想定、周辺施設の状況等の評価に基づき、児童館ごとの方向性を示します。

【方向性の検討方法】

① 利用者の推計

乳幼児、小学生、中学生、高校生、一般の区分により、児童館の利用実績に基づき、令和6年度から令和11年度の利用者数を推計した。なお、利用者数は、「墨田区基本計画」において推計した人口推計をもとに、これまでの人口に対する上記区分の利用率についてのトレンドを各年の人口に乗じて、八広児童館（令和6年4月から）・文花児童館（令和9年以降予定）の移転による影響を加味して算出した。

また、利用状況を示す指標として、「利用者数÷人口推計」を「利用率」、「対象別利用者数÷全体利用者数」を「利用率」として示した。

表 令和11年度の利用想定（全館平均）

（単位：人）

対象	人口推計（A）	一日当たり 利用者推計（B）	利用率 (B÷A)	利用率 (対象別利用者÷全体利用者)
乳幼児	11,055	212	1.92%	10.44%
小学生	9,802	940	9.59%	46.22%
中学生	5,543	212	3.82%	10.42%
高校生世代	5,356	51	0.95%	2.51%
一般	267,541	619	0.23%	30.41%

② 施設機能の評価

乳幼児、学童児童、自由来館（小学生）、中・高校生世代、一般の区分により、令和11年度の1日当りの利用想定人数を算出し、周辺施設の状況を勘案して、児童館ごとに保有している機能で対応可能であるか検証した。

◎	○	△	×
充実	標準	やや不足	不足

なお、文花児童館は現施設の機能について検証した。

③ 方向性の提示

上記「施設機能の評価」同様の区分により、各館が現在抱える運営上の問題点及び課題を整理し、今後の運営及び施設整備の方向性を導き出した。

2 児童館別の現状評価及び方向性

(1) 墨田児童会館

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約 20%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・支援(貧困・虐待・ヤングケアラー等)を必要とする児童、家庭の利用がある。
- ・地域団体(企業・NPO・ボランティア等)とのつながりが強い。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。(全館)

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	6,214	9,066	9,215	9,507	9,378	8,935	8,885	26	9.27%
小学生	22,022	33,940	35,363	39,939	40,331	40,726	38,442	110	40.14%
中学生	3,461	4,726	8,182	7,294	15,425	16,020	18,721	54	19.54%
高校生世代	627	1,920	1,490	1,885	842	1,768	2,102	6	2.19%
一般	13,465	18,950	21,656	23,397	23,640	24,395	27,651	79	28.86%
全体	45,789	68,602	75,906	82,022	89,616	91,844	96,801	275	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	図工室	音楽室	遊戯室	屋外遊び場
乳幼児	○							◎
学童児童		○	○	◎	◎	○	◎	◎
自由来館(小学生)			○	◎	◎	○	◎	◎
中・高校生世代			○	◎	◎	○	◎	◎
子育て拠点	○							

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
梅若橋コミュニティ会館	体育室、図書室、乳幼児室、音楽室、グループ室、調理室、集会室
スポーツプラザ梅若	体育館

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室内に調乳スペースがない。
小学生対策	・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。
中・高校生世代対策	・中学生と小学生との共存できるスペースが少ない。 ・高校生の利用率が減少している。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、待機児童4人、分室待機児童12人 ・調理スペース及び手洗い場は本館学童のみ(第二学童には設置されていない) ・クールダウンできる場所が無い。
その他	・施設の老朽化(トイレ、床タイル、幼児室の壁、体育室の床、空調等設備) ・来館者数が多く、1階フロアでの入館者への対策が重要になっている。

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・梅若橋コミュニティ会館の調理室等の活用、役割分担を検討する。・地域との連携強化を図る。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・築50年以上を経過し、施設の老朽化が進んでいることから、建替えを前提とした検討を進める。
検討にあたっては、墨田区児童館の中心的存在であることから、現状同等の機能に加え、学習に対するニーズにも応えられる施設機能・整備や将来を見据えた必要な機能を検討する。

*1 1日当り利用想定数・・・R11年度の利用者数を年間開館日数で除したもの

*2 利用率・・・1年度の対象別(乳幼児、小学生等)利用者数を利用者数の全体で除したもの

(2) 八広児童館

1 現状・利用者推計

- ・令和6年4月1日移転。令和2～5年度実績は旧施設の利用実績。
- ・新施設での運営開始後間もないことから、推計の扱いには留意が必要である。
- ・高校生世代の利用比率は約1%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	504	935	1,521	1,638	7,308	7,250	7,244	21	10.74%
小学生	11,357	18,304	21,943	19,414	36,696	36,912	35,664	103	52.88%
中学生	551	266	1,181	1,697	6,547	6,642	7,071	20	10.48%
高校生世代	2	100	167	12	468	503	516	1	0.76%
一般	3,461	6,065	6,974	7,102	15,914	16,110	16,955	49	25.14%
全体	15,875	25,670	31,786	29,863	66,933	67,416	67,450	194	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書・勉強室	体育室	図工コーナー	音楽スタジオ	中高生コーナー	ラウンジ・プレイコーナー
乳幼児	◎		○	○				○
学童児童		◎	◎	◎	◎			◎
自由来館(小学生)			◎	◎	◎			◎
中・高校生世代			○	△		○	◎	○
子育て拠点	○							

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
------	-----

社会福祉会館 体育室、幼児室、図書室、学習室、グループ室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・土日祝の利用者数特に4～5歳に対し乳幼児室が狭小なため、館内の利用方法を工夫する必要がある。
小学生対策	・2階ラウンジにテーブル・椅子を増設し、居場所を増やす必要がある。
中・高校生世代対策	・体育室スペースを工夫した、大人数での運動方法を検討する必要がある。
学童クラブ	・体育室の広さや天井の高さに合わせた、活動内容を検討する必要がある。
その他	・令和6年4月1日時点、待機児童0人、分室待機児童0人

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・移転に伴う施設拡大により、0～18歳までの全ての世代が、より利用しやすくなった。
- ・児童館のPRに努め、より地域に根差した利用者増を図る必要がある。
- ・区内で唯一、「地域活動施設」を整備している。子育て関係団体の利用促進や、施設を活用し地域連携を強化することで、地域コミュニティの醸成を図る。
- ・中川児童館との機能分担を検討する。
- ・社会福祉会館を活用した児童館事業の実施や事業連携について検討する。

(2) 施設整備（建築物、付帯施設、その他整備）の方向性

- ・利用者が安全・安心・快適に過ごすことができるよう、適切に点検、診断、維持補修工事等を実施する。

(3) 江東橋児童館

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約6%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・一般の利用比率は約37%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・地域との共催イベントや地域・保護者参加型のイベントを多く開催しているため、一般利用が多い。
- ・海外にルーツを持つ利用者、区外在住者の利用が多い。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	4,137	5,947	5,212	5,346	5,754	5,483	5,452	16	11.90%
小学生	11,998	14,434	19,066	12,458	20,323	20,503	19,465	56	42.50%
中学生	473	635	1,620	1,010	2,438	2,529	2,941	8	6.42%
高校生世代	281	1,076	1,087	768	449	896	1,058	3	2.31%
一般	11,315	13,335	13,745	13,021	14,149	14,665	16,890	49	36.87%
全体	28,204	35,427	40,730	32,603	43,113	44,076	45,806	132	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書・遊戯室	体育室	屋上
乳幼児	△			△	△
学童児童		○	○	△	○
自由来館(小学生)			○	△	○
中・高校生世代			○	△	○
子育て拠点	△				△

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
ひがしんアリーナ(墨田区総合体育館)	屋内競技場、スタジオ、会議室、武道場
緑図書館	図書室、ティーンズコーナー

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室内に調乳スペースがない。 ・乳幼児事業で使用している体育館・学童クラブ室の床が硬い。 ・ベビーカーの置き場が限られている。
小学生対策	・体育室が狭く天井が低く、床が硬い。 ・図書室が遊戯室を兼ねている。また、音楽事業も図書・遊戯室で実施している。 ・施設が狭小なため、児童館事業実施時、事業に参加しない児童の居場所確保が困難。
中・高校生世代対策	・中高生用のスペースが少ない。 ・体育室について広さや天井の高さが不足しており、活動内容に制限がある。 ・狭い施設ではあるが、利用率を高める取組が必要である。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室待機1人 ・クールダウンできる場所が無い。
その他	・設備の老朽化、バリアフリーへの対応が必要である。 ・駐輪スペースが狭い。

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・海外にルーツをもつ利用者への支援等、利用者の特性に応じた運営を行う。
- ・施設が狭小なため、施設を最大限に活用した運営方法や、周辺公共施設を活用した運動、学習活動の場の充実等を検討する。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・築50年以上を経過し、施設の老朽化が進んでいることから、長期修繕又は建替えについて検討を進める。また、敷地が狭小なため移転の可能性についても検討する必要がある。

(4) 東向島児童館

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約13%、高校生世代は約7%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・令和5年度は長期修繕工事の影響により利用実績が少ない。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者	実績				推計				
(延べ人数)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	3,218	6,169	5,830	4,494	5,157	4,914	4,886	14	9.87%
小学生	16,140	24,563	26,639	20,984	19,554	19,814	18,310	53	36.99%
中学生	1,031	2,827	4,215	4,651	4,917	5,227	6,636	19	13.41%
高校生世代	1,637	2,051	1,506	473	1,859	2,934	3,322	10	6.71%
一般	9,049	13,952	13,814	9,454	13,976	14,422	16,347	47	33.02%
全体	31,075	49,562	52,004	40,056	45,463	47,311	49,501	143	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	図工室	音楽室	遊戯室	ラウンジ
乳幼児	△						○	○
学童児童		○	○	○	○	○	○	○
自由来館(小学生)			○	○	○	○	○	○
中・高校生世代			○	○	○	○	○	○
子育て拠点	△							

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
ひきふね図書館	図書室、こどもとしょしつ、ティーンズルーム、グループ学習室
すみだ生涯学習センター	多目的室、音楽スタジオ、ホール、展示ギャラリー
曳舟文化センター	多目的室・和室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。 ・専用室の利用人数に限りがある(5組程度)。 ・ラウンジを活用しているが、階段と直結しているため安全管理が課題になる。 ・ベビーカーの置き場が限られている。
小学生対策	・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。
中・高校生世代対策	・体育室が狭小なため、人数制限や活動制限により安全性を確保している。 ・音楽室の防音効果が不十分なため、活動に制限がある。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室11人
その他	・1階入口から階段が近く、事務室からの視認性を確保する防犯対策が重要になっている。 ・1階入口が明治通りに面しているため、飛び出し等の事故防止が重要になっている。

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・東向島児童館分館との連携を推進することで、中・高校生世代向け機能(居場所機能等)の強化について検討する。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・自習スペースの整備等、中・高校生世代が、より利用しやすい施設整備について検討する。

(5) 東向島児童館分館

1 現状・利用者推計

- ・京成曳舟駅の高架下にある、駅直結の児童館のため区外在住者の利用も多い。
- ・区内で唯一、屋内型大型アスレチックを有するため、広範囲から利用者が集まる。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	8,766	13,222	17,342	20,620	20,081	19,274	19,183	55	28.05%
小学生	5,635	15,192	23,744	32,431	22,515	22,735	21,460	62	31.38%
中学生	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高校生世代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般	10,052	16,165	20,440	25,187	23,712	24,469	27,736	80	40.57%
全体	24,453	44,579	61,526	78,328	66,308	66,478	69,396	197	

2 機能別の評価

	すくすくルーム（乳幼児室）	わくわくルーム（屋内アスレチック）	チャレンジコーナー
乳幼児	◎	△	△
自由来館(小学生)		◎	◎
子育て拠点	◎		

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
ひきふね図書館	図書室、こどもとしょじつ、ティーンズルーム、グループ学習室
すみだ生涯学習センター	多目的室、音楽スタジオ、ホール、展示スペース
曳舟文化センター	多目的室・和室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・時間帯によって定員を超える利用希望がある。 ・年長児がのびのび遊べるよう時間と条件を決めてわくわくルームを利用できるようにしているが、安全管理の点から条件の整理が必要となる。
小学生対策	・わくわくルーム（屋内アスレチック）及びチャレンジコーナーは、利用者の安全をより注意して見守ることが必要である。 ・分館の特色をより活かす遊びの発展性が求められる。
その他	・窓が開けられず換気が不十分なため、湿度対策（カビ予防等）が必要である。

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・乳幼児から小学生を対象とした分館の特色を生かして児童がより多様な体験をできるような運営を行う。

(2) 施設整備（建築物、付帯施設、その他整備）の方向性

- ・大型アスレチック及びボルダリング（附属する備品を含む）について、定期的なメンテナンスが必要である。

(6) 立花児童館

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約14%、高校生世代は約5%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・海外にルーツをもつ利用者が増加している。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				1日当り 利用想定数*1	利用率*2
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度			
乳幼児	3,096	4,490	4,205	4,578	3,497	3,285	3,261		9	7.13%
小学生	11,593	21,170	18,690	21,393	22,986	23,211	21,909		63	47.88%
中学生	1,727	3,231	4,210	2,385	4,614	4,905	6,227		18	13.61%
高校生世代	827	988	1,410	2,007	1,134	1,917	2,199		6	4.81%
一般	6,386	7,833	8,761	9,445	10,395	10,727	12,159		35	26.57%
全体	23,629	37,712	37,276	39,808	42,627	44,405	45,755		131	

2 機能別の評価

	乳幼児コーナー	学童クラブ室	図書室	体育室	図工・音楽室	プレイグラウンド
乳幼児	△					○
学童児童		◎	○	○	△	○
自由来館(小学生)			○	○	△	○
中・高校生世代			○	△	△	○
子育て拠点	△					

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
立花図書館	図書室、ティーンズコーナー
立花体育館	体育館

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。 ・授乳、おむつ替え等は、別室を利用している。
小学生対策	・工作のための設備を有する専用室が無い。
中・高校生世代対策	・体育室の天井が低く、遊びやスポーツが限られる。 ・中高生用のスペースが少ない。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室0人
その他	

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・小学生と中学生とが、安全に異年齢交流活動ができるよう運営する。
- ・公園等の周辺環境をいかした事業の充実を図る。
- ・文花、中川児童館との機能分担を検討する。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・利用者が安全・安心・快適に過ごすことができるよう、適切に点検、診断、維持補修工事等を実施する。

(7) 立川児童館

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約5%、高校生世代の利用比率は1%未満であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・地域団体とのつながりが強固である。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				1日当り 利用想定数*1	利用率*2
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度			
乳幼児	3,586	2,629	5,668	5,197	4,580	4,364	4,340		12	9.97%
小学生	13,798	17,500	22,164	23,157	23,069	23,295	21,988		63	50.53%
中学生	186	90	458	676	1,782	1,831	2,055		6	4.72%
高校生世代	227	40	82	81	53	138	168		1	0.39%
一般	9,409	9,795	14,336	13,839	12,795	13,203	14,966		43	34.39%
全体	27,206	30,054	42,708	42,950	42,279	42,831	43,517		125	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	図工室	屋上
乳幼児	○					△
学童児童		○	○	○	○	△
自由来館(小学生)			○	○	○	△
中・高校生世代			○	○	○	○
子育て拠点	○					

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
みどりコミュニティセンター	多目的ホール、スタジオ、会議室
緑図書館	図書室、ティーンズコーナー、学習室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。 ・ベビーカー置き場が不足している。 ・ランチスペースは小学生と共用のため、長期休業時に運用しづらい。
小学生対策	・体育室の天井が低い。
中・高校生世代対策	・体育室の広さや天井の高さが不足しており、活動内容に制限がある。 ・高校生世代について、利用者増に向けた取組が不可欠である。 ・中高生用のスペースが少ない。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童2人、分室13人
その他	・施設・設備の老朽化(電気設備、空調設備(壁内部ドレーン管を含む)、外壁等)

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・地域組織との密接な連携を継続し、地域交流・多世代交流事業の積極的な開催・共催、及び地域組織等が開催するイベントに参加することで、より地域に開かれた児童館として運営する。
- ・放課後子ども教室と連携した小学生の居場所対策を継続する。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・大規模修繕による施設の長寿命化と併せ、利用者の安全・安心・快適に向けた施設整備について検討する。

(8) 文花児童館

1 現状・利用者推計

- ・令和11年度推計は、移転後の児童館。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	2,797	5,143	4,939	5,289	5,058	4,819	6,401	18	9.01%
小学生	12,581	20,476	28,066	27,202	27,159	27,425	33,867	97	47.67%
中学生	1,753	2,875	2,743	3,418	5,419	5,698	7,798	22	10.98%
高校生世代	700	545	881	951	724	1,224	1,837	5	2.58%
一般	7,792	11,835	12,718	11,348	13,853	14,295	21,149	61	29.77%
全体	25,623	40,874	49,347	48,208	52,214	53,461	71,052	203	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	音楽室	遊戯室
乳幼児	○					
学童児童		○	○	○		
自由来館(小学生)			○	○		○
中・高校生世代			○	○	○	
子育て拠点	○					

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
文花子育てひろば	交流室(乳幼児室)、図書コーナー
横川コミュニティ会館	体育室、図書室、乳幼児室、音楽室、グループ室(遊戯室)、集会室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。(新館で対応) ・各種乳幼児関係事業の利用者は多く、近隣幼稚園や保育園の利用もある。 ・春の花見の季節や夏季、冬季、雨季等の室内利用も多い。
小学生対策	・学童クラブ児童の日常利用も含まれるため児童館スペースが不足。(新館で対応)
中・高校生世代対策	・高校生の利用率が低下している。 ・中高生用のスペースが少ない。(新館で検討)
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室0人
その他	・施設の経年劣化(壁の塗装剥離等)

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・文花子育てひろばとの連携による、地域子育て支援拠点としての役割の強化を図る。
- ・隣接する公園を活用した事業の充実を図る。
- ・新館について、施設拡大に伴う、中・高校生世代の居場所機能強化について検討する必要がある。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・新館について、令和7年度より工事着手し、令和9年度以降の移転を予定している。移転後は、利用者が安全・安心・快適に過ごすことができるよう、適切に点検、診断、維持補修工事等を実施する。

(9) 中川児童館

1 現状・利用者推計

- ・小学生の利用比率は約 60%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・近年の実績も、小学生の利用比率が高く、乳幼児、中・高校生世代の利用率が低い。
- ・令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	937	1,558	1,937	2,064	1,838	1,752	1,742	5	3.94%
小学生	13,074	23,484	25,197	31,426	27,770	28,042	26,469	76	59.93%
中学生	174	675	1,453	1,892	4,526	4,623	5,060	15	11.46%
高校生世代	124	405	109	410	533	694	753	2	1.70%
一般	6,150	6,735	9,098	11,158	8,674	8,951	10,146	29	22.97%
全体	20,459	32,857	37,794	46,950	43,341	44,601	44,170	127	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	中高生ルーム
乳幼児	△				
学童児童		○	○	○	
自由来館(小学生)			○	○	
中・高校生世代			○	○	○
子育て拠点	△			△	

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
立花図書館	図書室、ティーンズコーナー
立花体育館	体育館

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。 ・年齢別の乳幼児事業と地域子育て支援拠点事業を 3 階体育室で行っている。
小学生対策	・学童クラブ児童が多く、自由来館を含めた遊びのスペースが限られる。
中・高校生世代対策	・3 階体育室の天井が低い。 ・利用率を高める取組が必要である。 ・中高生用のスペースが少ない。
学童クラブ	・令和 6 年 4 月 1 日時点、学童クラブ待機児童 8 人、分室 2 人
その他	・施設の経年劣化（壁や床の汚れ、塗装剥離等、外通路扉、サッシ・レール）

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・地域組織との密接な連携を継続し、地域交流・多世代交流事業の積極的な開催・共催、及び地域組織等が開催するイベントに参加することで、より地域に開かれた児童館として運営する。
- ・八広児童館、立花児童館との機能分担等を進めながら、既存施設の有効活用を図る。

(2) 施設整備（建築物、付帯施設、その他整備）の方向性

- ・大規模修繕による施設の長寿命化と併せ、利用者の安全・安心・快適に向けた施設整備について検討する。

(10) 外手児童館

1 現状・利用者推計

- ・乳幼児の利用比率は約 8%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれるが、近隣の大規模開発に伴う利用者増が予測される。(推計)
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用比率*2
乳幼児	3,480	2,371	3,903	4,320	4,482	4,270	4,246	12	7.59%
小学生	18,308	18,338	23,007	27,399	28,343	28,620	27,015	78	48.26%
中学生	451	674	2,675	3,685	3,909	4,093	4,927	14	8.80%
高校生世代	24	569	1,035	597	305	584	685	2	1.22%
一般	11,772	10,283	13,012	14,047	16,333	16,855	19,104	55	34.13%
全体	34,035	32,235	43,632	50,048	53,372	54,422	55,977	161	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	多目的室
乳幼児	△				
学童児童		○	○	○	
自由来館(小学生)			○	○	○
中・高校生世代			○	○	
子育て拠点	△				

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
本所地域プラザ (BIG SHIP)	調理室、多目的ホール、学び合い体験室 (工作等)、スタジオ、会議室
両国子育てひろば	交流室 (乳幼児室)、図書コーナー
東駒形コミュニティ会館	体育室、図書室、乳幼児室、音楽室、図工室、グループ室、集会室
横川コミュニティ会館	体育室、図書室、乳幼児室、音楽室、グループ室 (遊戯室)、集会室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。 ・多目的室等を乳幼児事業に活用している。
小学生対策	・多目的室を活用した音楽活動をしている。
中・高校生世代対策	・体育室の天井が低い。 ・中高生用のスペースが少ない。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童3人、分室3人 ・学童クラブ室のほか、若宮公園での屋外活動も実施している。
その他	・受付が1階の奥にあり、来館者の確認がしにくいいため受付を出入口付近に設置。 ・近隣にコミュニティ会館2館、本所地域プラザがあり、利用者の分散がある程度されている。

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・本所地域プラザ等、近隣関連施設と連携した児童館事業の実施を進める。
- ・今後、大規模開発に伴う利用者増を見込んだ取組を検討する必要がある。

(2) 施設整備 (建築物、付帯施設、その他整備) の方向性

- ・大規模修繕による施設の長寿命化と併せた機能強化を検討する。
- ・受付を出入口付近に設置したが空調がなく、夏の暑さや冬の寒さが厳しい。利用者の快適性及び職員の労働環境を改善するための整備を検討する必要がある。

(11) 八広はなみずき児童館

1 現状・利用者推計

- ・小学生の利用比率は約56%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・一般の利用比率は約19%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	2,567	4,914	4,910	5,314	3,573	3,405	3,386	10	5.76%
小学生	18,085	28,149	29,910	27,970	34,254	34,589	32,649	94	55.53%
中学生	280	2,642	3,861	3,423	7,078	7,272	8,154	23	13.87%
高校生世代	460	534	380	619	2,634	3,072	3,230	9	5.49%
一般	6,291	8,975	9,425	11,717	9,730	10,040	11,381	33	19.35%
全体	29,798	43,343	47,070	52,291	57,269	58,378	58,800	169	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	プレイルーム	多目的室
乳幼児	○					
学童児童		○	○	○	△	○
自由来館(小学生)			○	○	△	○
中・高校生世代			○	○	△	○
子育て拠点	△					

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
八広図書館	図書室、ティーンズコーナー、多目的ルーム
八広地域プラザ（吾嬬の里）	会議室、調理室、多目的ホール、体育館、工作室、音楽スタジオ、多目的運動場

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。
小学生対策	・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。
中・高校生世代対策	・常連の児童が多く、新規利用者を受入れするための取組が必要である。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童7人、分室4人
その他	・施設の経年劣化（体育室の床、階段の手すり等）

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・既存施設の有効活用による機能充実を図る。
- ・児童館を中心とした地域交流について、引き続き強化する。
- ・八広地域プラザ等、近隣関連施設を活用した児童館事業の充実を図る。

(2) 施設整備（建築物、付帯施設、その他整備）の方向性

- ・大規模修繕による施設の長寿命化と併せ、利用者の安全・安心・快適に向けた施設整備について検討する。

(12) さくら橋コミュニティセンター

1 現状・利用者推計

- ・中学生の利用比率は約7%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が低い。

利用者 (延べ人数)	実績				推計				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	1日当り 利用想定数*1	利用率*2
乳幼児	2,567	4,914	4,910	5,314	5,103	4,862	4,835	14	7.86%
小学生	18,085	28,149	29,910	27,970	31,375	31,682	29,905	86	48.60%
中学生	498	1,298	3,203	4,804	3,063	3,257	4,134	12	6.72%
高校生世代	212	1,139	724	1,129	1,183	1,722	1,917	6	3.12%
一般	11,143	15,561	14,678	16,441	17,730	18,296	20,738	60	33.70%
全体	32,505	51,061	53,425	55,658	58,454	59,819	61,530	178	

2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	体育室	音楽室
乳幼児	△				
学童児童		○	○	◎	△
自由来館(小学生)			○	◎	△
中・高校生世代			△	○	◎
子育て拠点	△				

3 近隣関連施設

施設名称	設備等
すみだ共生社会推進センター(すみなか)	情報資料コーナー、ホール、会議室

4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室に調乳スペースがない。
小学生対策	・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。
中・高校生世代対策	・中高生用のスペースが少ない。
学童クラブ	・令和6年4月1日時点、学童クラブ待機児童13人、分室5人 ・第二学童クラブ設置に伴い手洗い等設備等に不足が生じている。
その他	・施設の経年劣化(水周り、空調、壁・天井の汚破損等)

5 今後の運営及び施設整備の方向性

(1) 運営の方向性

- ・周辺に、児童館事業等に活用可能な公共施設が公園以外にないため、既存施設を有効活用して、乳幼児及び小学生の居場所確保を図る。

(2) 施設整備(建築物、付帯施設、その他整備)の方向性

- ・大規模修繕による施設の長寿命化と併せ、利用者の安全・安心・快適に向けた施設整備について検討する。